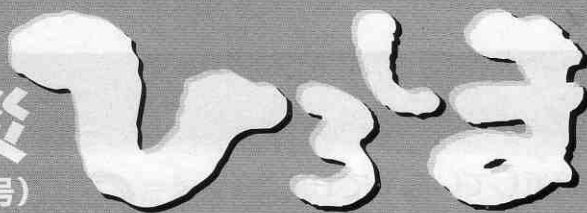


自主防災

(臨時号)



自助
共助 公助

編集・発行／広島市危機管理室
TEL (082)504-2664

台風シーズン襲来！！

1年間に平均27個発生し、平均11個が日本に接近、平均3個が日本に上陸している台風。

台風による大雨や高潮などにより被害が発生する恐れがありますが、地震や集中豪雨と比べると、気象情報などにより十分な準備が可能となります。

台風についての基本的な知識や、過去の事例などを知ることにより、いざというときに備えましょう！！



〈画像掲載元：気象庁ホームページ〉

台風基礎知識

台風とは？

台風のはじまりは、赤道近くの温度の高い海で生まれた「熱帯低気圧」とよばれるものです。

次第に勢いが強くなり最大風速（さいだいふうそく）約17m/秒を超えるものを「台風」と呼びます。強い風とはげしい雨で私たちの暮らしに被害を与えることもしばしばあります。



台風の強さと最大風速

台風の強さは、その最大風速により下の表のように決められています。

台風の強さ	最大風速
強い	33m/秒以上～44m/秒未満
非常に強い	44m/秒以上～54m/秒未満
猛烈な	54m/秒以上

台風の大きさ

台風の大きさは、強風域の大きさによって下の表のように決められています。

台風の大きさ	強風域の半径 (平均風速15m/秒以上)
大型 (大きい)	500km以上800km未満
超大型 (非常に大きい)	800km以上

台風の進路による 風の影響の違い

一般的に、台風が西側を通過する場合、風向きと進行方向が一致し、より強い風が発生します。



〈画像掲載元：江波山気象館〉

台風がもたらす影響

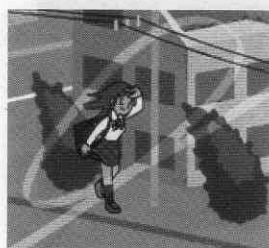
台風がもたらす影響は、台風が接近していなくても梅雨前線の影響により大雨が降る場合や土砂災害の危険が高まります。その他にも以下のような点に注意しましょう。



中区の**江波山気象館**では、秒速5m、15m、20mの風を体験できる装置があります。

暴風について

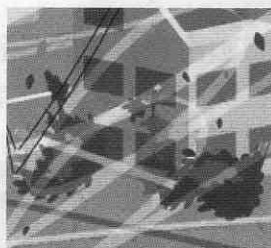
平均風速15~20m/秒の風が吹くと、歩行者が転倒したり、高速道路での運転に支障が出始め、さらに強くなると建物の倒壊、農作物の被害、交通障害など社会に甚大な被害をもたらします。



平均風速15~20m/秒



平均風速20~25m/秒



平均風速25m/秒以上



高潮について

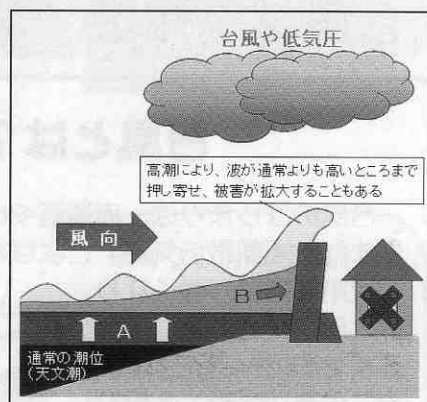
高潮は、台風や猛烈に発達した低気圧が原因で発生し、気圧の低下による吸い上げ効果などにより、海面が上昇する現象です。

吸い上げ効果 (図中A)

台風や発達した低気圧などに伴い、気圧が下がり海面が吸い上げられる効果→強い台風によって数10cm海面が上昇

吹き寄せ効果 (図中B)

強風により海水が海岸に吹き寄せられる効果



〈画像掲載元：気象庁ホームページ〉

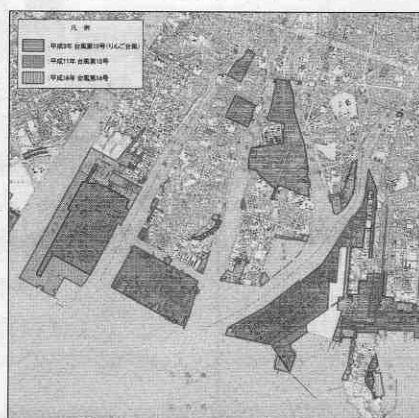
過去に高潮で浸水した地域は？

広島市 高潮浸水区域図

検索

広島市では、近年の3つの台風による高潮による本市の浸水区域について、高潮浸水区域図を作成し、ホームページで公表しています。(広島県がまとめた浸水被害状況調査等を基に作成し、大まかな浸水区域を図示したもの)

なお、この浸水区域以外の区域で浸水する場合がありますので留意してください。



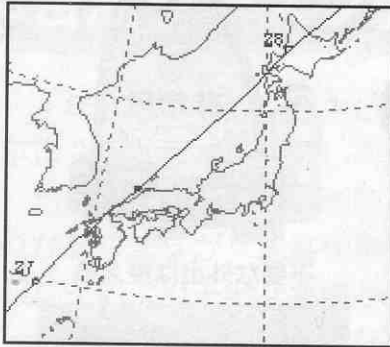
※平成3年(1991年)台風19号(りんご台風)、平成11年(1999年)台風18号、平成16年(2004年)台風18号

過去に広島市を襲った台風

広島市に大きな被害をもたらした主な台風を紹介します。1面にも記載しているように広島市の西側を通過した台風が大きな被害をもたらしていることが確認できます。

台風ルート

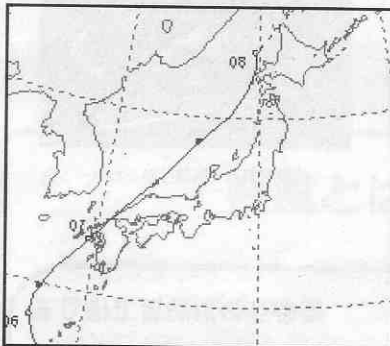
平成3年(1991年) 9月27日~28日 台風第19号



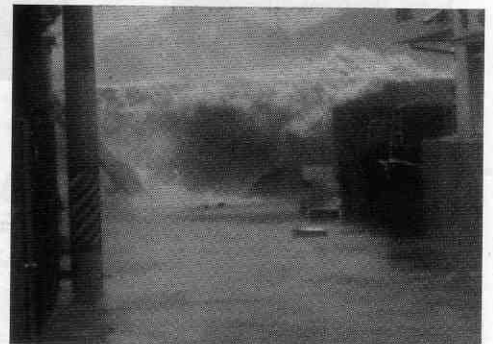
<人的被害>		
死 者		2名
行方不明者		0名
負 傷 者		54名
<住家被害>		
全 壊		9棟
半 壊		141棟
一部損壊		6,313棟
床上浸水		546棟
床下浸水		2,030棟



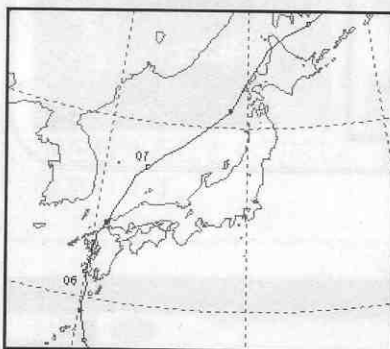
平成16年(2004年) 9月7日~8日 台風第18号



<人的被害>		
死 者		1名
行方不明者		0名
負 傷 者		60名
<住家被害>		
全 壊		0棟
半 壊		6棟
一部損壊		6,004棟
床上浸水		64棟
床下浸水		122棟



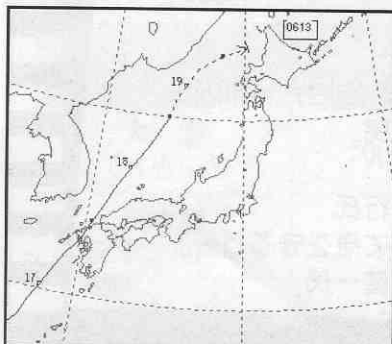
平成17年(2005年) 9月6日 台風第14号



<人的被害>		
死 者		0名
行方不明者		0名
負 傷 者		3名
<住家被害>		
全 壊		3棟
半 壊		72棟
一部損壊		71棟
床上浸水		119棟
床下浸水		117棟



平成18年(2006年) 9月16日~18日 台風第13号



<人的被害>		
死 者		1名
行方不明者		1名
負 傷 者		2名
<住家被害>		
全 壊		0棟
半 壊		1棟
一部損壊		27棟
床上浸水		13棟
床下浸水		43棟

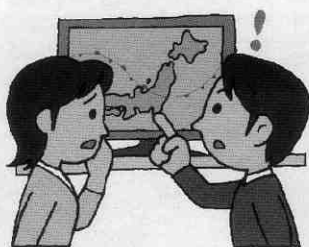


台風に備えて

台風は、いきなり接近してくるのではなく、広島に影響を及ぼす数日前から、ニュースや天気予報等で各地の被害状況が伝えられ、予想進路や勢力、雨の降り方などの情報を得ることができます。

時間的な余裕を持って事前の台風対策を行いましょう！

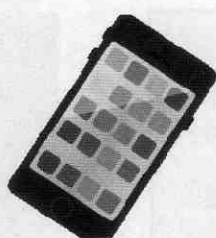
気象情報の定期的な入手



土のう作り



防災情報メールの登録



窓の補強



避難場所の確認



断水対策



非常持ち出し品の準備



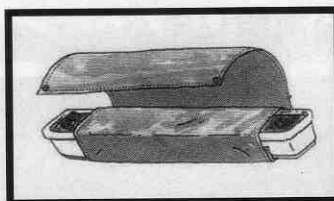
不要な外出は控える



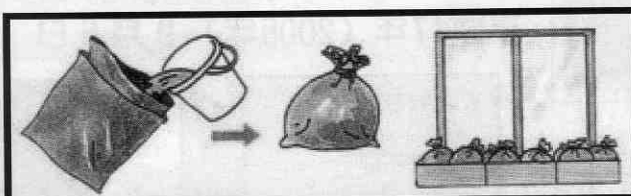
<画像掲載元：気象庁ホームページ>

土のうが自分で手に入らない場合には・・・

プランターにレジャーシートを巻きつける



ゴミ袋を重ねて土のう代わりに



最寄りの消防署で借りる



イベント案内

平成27年度広島市防災講演会 ～地域の防災力向上を目指して！～

- 日時** 平成27年 8月26日(水) 13:30～15:50 (開場13:00～)
- 場所** 広島市青少年センターホール (中区基町5番61号)
- 対象** 広島市及び周辺地域の自主防災組織のリーダーや民生委員、自治会・町内会の役員、消防団員、女性防火クラブ員、行政職員、一般住民
- 内容**
 - 基調講演1「地域を知り、防災を考える」
静岡大学防災総合センター 教授 牛山 素行氏
 - 基調講演2「仁義なき自然災害 ～気象情報をうまく使って身を守ろう～」
テレビ新広島 気象予報士・防災士 波田 健一氏